

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 橿原市立畝傍中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 634 - 0045
奈良県橿原市石川町 204

E-mail : unechu@mahoroba.ne.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 352 名 女子 312 名 合計 664 名
児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

2015年度 人権総合学習ベーシックプラン

| | 1 年 | 2 年 | 3 年 |
|-----|--|---|---|
| 4月 | 思いっきり自己紹介 | 思いっきり自己紹介 | 思いっきり自己紹介 |
| 5月 | 海洋実習に向けて | 校外学習に向けて | |
| 6月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆地域学習(部落問題学習) ・洞村学習 ・地域の人々との出会い他 《出会い その1》 </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆部落問題学習 ・差別の現実に学ぶ ・結婚差別など 《出会い その4》 </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆進路学習 ・高校訪問に向けて ・高校調べ ・畝傍夜間中学に学ぶ </div> |
| 7月 | (反戦平和学習) | (反戦平和学習) | (反戦平和学習) |
| 8月 | | | ・高校等体験入学 オープンスクールに参加 体育大会に向けて |
| 9月 | 体育大会に向けて | 体育大会に向けて | 体育大会に向けて |
| 1月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆福祉ボランティア体験学習 ・障がい者問題学習 ・福祉ボランティア体験 《出会い その2》 </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆職場体験学習 ・職業調べ ・労働学習 ・職業人のナマの声を聞く 《出会い その5》 </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆進路学習 ・将来を見すえて ・夜間中学や定時制高校に学ぶ ・奨学金制度を知る ・あおぞらの生徒の進路について ・ゲストティーチャーに学ぶ 《出会い その7》 </div> |
| 11月 | | | |
| 12月 | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆国際理解学習 ・韓国・朝鮮との出会い ・アジアの国々との出会い ・在日コリアンの現状 《出会い その6》 </div> | |
| 1月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆命の学習 ・性教育 ・命について学ぶ 《出会い その3》 </div> | | |
| 2月 | | 修学旅行に向けて ・修学旅行実施 | 畝中生活総括 ・文集づくり |
| 3月 | | | ・答辞作成など |

① 人権を尊重する意識・態度を育成するための取り組み内容

- ・人権に関するアンケート調査を行い、生徒の意識や実態を把握する。
- ・班活動を重視し、班ノートの充実。班で問題提起があれば、学活や終わりの会で話し合う。
- ・学級通信を発行し、班ノートの内容を載せたり、人権問題を意識させる内容を載せる。
- ・特別支援学級からの新聞を使い、「障がい者」について考えさせる。
- ・人権教育部からの通信を使い、人権意識をもたせる。

①各学年の取り組み

〔1年生〕

・障がい者問題学習

- ・大阪桐蔭の主将であった、中村さんの作文を使い、「かわいそう」という気持ちについて学習した。
- ・車いすや白杖、アイマスク、点字を用意し、学年全体で様々な不自由を体験する授業を行った。実際に体験することで、介護者がどのようなことに気をつけないといけないかをより深く学んだ。
- ・車いすバスケットの根木さんを講演に呼ばせてもらってが、緊急な事象があり、断ることになった。代わりに11月パラリンピック陸上競技で活躍された山本さんに来校して頂き、夢をもつ大切さを学んだ。



・「いじめ」をテーマにした学習

1学期の学校生活の中で、複数回にわたり同じ生徒への嫌がらせの事象が続いた。このことを学校として「いじめ」であると認識し、学年としても人権学活で「いじめ」をテーマに人権学活を行うことになった。生徒たちに対して、「いじめ」を許さない態度を養うこと、「うわさ」や「かげ口」に惑わされないこと、なかまを大切にすることをしっかりと考えさせたいと思い、1学期終わりの時期に総時間4時間だてで授業を行った。

生徒の中には、「いじめをなくそう」と口にしながら、行動が伴わない者も多く、何気ない言動がトラブルにつながるものが頻繁にあった。そのため、「いじめ」と言われる状況は、どのような心理からどのようにして起こるのかという『いじめの構造を考える』切り口から、学習内容を考えた。

・部落問題学習

1学期に洞村フィールドワークを実施。小学校の時にも学習しているので事前学習の資料の読み取りも熱心に聞くことができたように思う。

おおくぼまちづくり館や洞村、移転後の生活について、福西先生・山本先生・吉住先生の講義を受け、実際にフィールドワークをして学べたことはとても良かった。楠原宗吉さんの生き方に学び、洞村移転は決してマイナスイメージではなくピンチをチャンスに変えたという点に重点をおいた指導をしてきた。

・命の学習

命と食との関わりについてDVDを用いて学習した。その後、梅本先生から食育についての学習をしていただいた。また、弁護士の方々に講師にきていただき、いじめ問題についての学習を行った。「いのち」を考える授業という流れで、「いのちのまつり」のDVDを鑑賞し、命のつながりについて考えた。その後、「命の授業」として助産師さんに来ていただき、お話を聞かせていただいた。「いのち」につなげて、東日本大震災をテーマに、気仙沼市立階上中学校の答辞や、震災孤児の話に触れ、「命の大切さ」についての授業を行った。

・1年生の活動

11月、パラリンピック陸上競技で活躍された山本さんに来校して頂き、夢をもつ大切さを学んだ。授業では実際にパラリンピックの金メダルを触らせてもらうなど、生徒との距離も非常に近く接して頂き、とても良い経験になった。障がい者が暮らしやすい環境は、自分たちにも暮らしやすいことであることを確認し活動した。学校内にいるスロープの修復作業を1年生で行った。



〔2年生〕

・部落問題学習

- ・「あの子」を用いた学習や伝言実験を通して、うわさ、かげぐちが何の根拠もなく広がっていくことを実感し、自分がどちらの立場にもなりうることを知り、自分自身の生活をふりかえる。
- ・タイムトラベラーユキ
場面ごとに読み合わせを行い、それぞれの場面について考えさせる。
部落問題の興りから、部落問題の歴史を紐解き、その中にある問題点を理解するとともに、差別そのものの原因が、どこにあるのかを気づかせる。
- ・初瀬太鼓麟角社の松田さんに講演していただき、奥さんとの結婚をめぐって、部落差別のため、親が結婚に反対したこと。部落の中であたたかい人とのつながりの中で、自分自身が生きてきたことを、2年生の前で語っていただいた。

・職場体験

12月上旬に、職場体験を行った。

10月から、事前学習を展開し、自分の将来の仕事について考えた後、11月にゲストティーチャーの方を招いて、それぞれのお仕事やご苦労について、お話を伺った。

また、3年生の体験談を聞くことで、自らの将来について、明確なビジョンを持ちながら、考える姿勢も見られた。

その後、職場体験を行い、実際に仕事を体験することで、生徒は働く苦労や意義を学習した。

・在日外国人についての学習

本県に在住する外国人は、2014年12月末現在、92か国10,791人である。近年、外国人の日本における滞在の長期化や定住化が進む中、アジアや中南米等の国から来日し、本県に暮らす外国人の児童生徒も多い。児童生徒の中には、日本語能力が十分とは言えず、言語や習慣・文化の違いから、日常及び学校生活を円滑に送っていく上で、困難をかかえている場合がある。異なる文化をもつ人々と共に生きていこうとする大人になることを目指して、現在の日本社会で生きる在日外国人の現実について、まずは知る学習を行っていきたい。

・2年生の活動

11月、2年生の学年集会で学年代表の先生が「自分たちの学校を自分たちで改善していく動きをしよう」と呼びかけ、破損した掲示物を修繕したり、校内環境をよくしてくれるメンバーを募っていただいた。その日の放課後、十数人が集まり、2年生お掃除隊が発足した。写真は生徒会とお掃除隊のメンバーが活動している様子です。



〔3年生〕

・進路学習

上級学校訪問を各学校が行うオープンキャンパスの中から各自が選んで参加をした。そして、受検に対する意識を高めるため、この訪問の重要性について事前に学習を重ね、服装・頭髪等のチェックについてもきびしく指導した。また、学校によって時期が異なるため全体の動きや高校への対応など忙しい時期と重なり大変であった。

・進路学習に関わって、人権の視点からの学習

①畝傍中学校夜間学級の取り組みに学ぼう

- ・畝傍中学校夜間学級のあゆみ・夜間学級への訪問
- ・夜間学級で学習している方々・卒業生の作文と講演
- ・映画『学校』の視聴・世界の子どもたちの学び

〔全校〕

・反戦・平和いのちの集い

70年前にあった沖縄戦。「鉄の暴風」が5ヶ月あまりも吹き荒れた。住民の4人に1人がなくなった。沖縄戦が終わって後のアメリカ軍の支配、今も続く米軍基地からの被害……。私たちは、これまでの沖縄の歩みから何をまなぶことができるのか。三重県で生まれ育った山本さんは、25歳で教諭として沖縄へ。この間、沖縄市、北谷町、嘉手納町の嘉手納基地周辺の学校を回りました。元嘉手納小学校教員琉球大学教育学部非常勤講師沖縄大学法文学部非常勤講師の山本隆司さんに7月13日(金)『反戦・平和いのちの集い』で「オキナワの歴史といま」と題して、講演をしていただきました。

・食育

放課後の時間を利用して、地域の食材を利用した調理をしました。飛鳥時代に中国から伝わってきたとされる牛乳を使用した鍋料理を作りました。地域の手焼きの麩の生産者より亡くなられた先代の技を見よう見まねで仕上げたという特別な麩をいただきました。

作って食べよう～！！ 郷土食

楽しく作って食べましょう～！！ 『畝中オリジナル飛鳥鍋』


飛鳥鍋
飛鳥時代に中国から伝わったとされている牛乳を使用した鍋料理です。

地元にごだわって集めた材料

大和肉類
名古屋種・ニューハンブシャー種・シャモから産まれた種類
白粥 大粒 しろ菜 まな 九条ねぎ 蕪菜 水菜 小松菜 ほうれん草
種原市石川町 校区で育てられている野菜です。

しめじ 奈良産産
しいたけ 郡中産
手焼きの麩 種原市 西郷製粉所
牛乳 種原市 西井牧場
みそ 種原市 林田こうじ造
しょうゆ 種原市 恒隆醤油
醤油 種原市 藤多醤油
味噌 種原市 藤葉久
米 種原市 校区産
粟米 明日香村・境内
西野桂六角餅口麩 種原市 エビス堂

くだもの 種原市 校区産
あげ こんにゃく しょうが 人参 しめじ 奈良産産
だし粉 奈良県内業者 取り扱い



・畝中フェスタ

昨年度まで、実施していた文化活動発表会と人権フェスタを、今年は、1日にまとめて、畝中フェスタとして実施した。午前中は、人権フェスタの部、午後は、文化活動発表の部として発表を行っていただいた。文化活動発表は、夏休み中に文化部の生徒が時間をかけて、準備していただいたものを発表していただいた。

人権フェスタは十数年前に、なかまとのつながりを大切にする活動の場として実施されていた行事を復活したものである。今年も3年生有志が中心となり、夏休み前から、夏休み明けまでたいへん精力的に準備をしていただいた。まず、人権作文の発表があり、各学年の代表者から、「命」[1年]・「ともだち」[1年]・「想像」[1年]・「畝傍中学夜間学級訪問」[3年]をテーマに、自らの決意を述べました。2年生は、1学期の「あの子」の寸劇の取組や部落問題学習「タイムトラベラーゆき」の学習について、報告してもらった。続いて、3年生有志が人権劇「タイムトラベラーゆき」を披露しました。3年生の劇を中心に、どの学年の内容もうわさや偏見の問題、いじめ・差別やなかまはずしの問題について、生徒たちが問いかけてくれている内容になった。



・クリーン作戦

5月22日と10月21日、中間テストの最終日、すべての部活動の生徒約450名の生徒が参加して、学校周辺と学校内の美化・清掃のボランティア活動を行った。軍手、火ばさみ、ゴミ袋を持って割り当てた場所に行き、燃えるゴミ、缶、ビン、ペ



ットボトルなどに分別し、処理した。本校でのクリーン作戦も5年目となり、行事として定着してきました。生徒も要領よく手分けし、作業をしてくれた。クラブの活動なので上級生が下級生をアドバイスし、清掃している姿も見られた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）